

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)1月15日 No. 1147

目次

ロシアの市場経済への移行問題についての雑感.....	坂口 泉 1
旧ソ連・東欧貿易商況(1999年11月).....	11
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	14

ロシアの市場経済への移行問題についての雑感

—ロシア鉄鋼分野を題材として—

はじめに 本レポートでは、ロシアの鉄鋼分野におけるある風景を題材に、市場経済への移行プロセスの中でロシアが遭遇している困難についての筆者の雑感を述べたい。また、最後の「まとめにかえて」の部分では、市場経済への移行とほぼ同時進行で実施されている民主制への移行についても筆者の雑感を述べたい。

もっとも、筆者の雑感は、以下に示すような市場経済に対するかなり独断と偏見に満ちた個人的見解を基盤としたものなので、その点は予めお含みおき願いたい。

たとえば筆者は、市場経済は際限のない人間の物的欲望との相乗効果に基づき無限の拡大を指向する経済システムであると認識している。しかし、本来有限である現実の物質世界で無限の成長を望むのは不可能なことのような気がする。いきおい、幻想世界に突破口を求めしかなくなるのではなからうか。誰が仕組んだのかわからぬが、ロシアの経済の実態はさほど変化していないのに、急激に良くなっているとの幻想が構築され、多くの人々がある時期、ロシア製金融商品を対象とする賭け事に興じた。1997年のあのバブルでロシア経済は何を得たのであろうか？

また、筆者は、「高度に発達した」市場経済の根底にあるのは弱肉強食の思想であり、経済戦争とほぼ同義であると考えている。最近、「戦場」が外地から内地に移動してきた感の強い日本などでも、そのことが実感を伴って認識されるようになってきたのではなからうか。